

第4次宮代町総合計画前期実行計画検証状況について

1. 前期実行計画（全28事業）の検証結果概要について（詳細はP2、P3）

(1) 主な成果目標に対する達成度

- ・ 100～76% 9事業（32%）
- ・ 75～51% 4事業（14%）
- ・ 50～26% 2事業（7%）
- ・ 25～0% 13事業（47%）

(2) 後期実行計画への継続

- ・ 継続 19事業
- ・ 見直し 7事業
- ・ 廃止 2事業（市民による進修館の運営、便利バスが走る事業）

(3) 後期実行計画策定作業にあたっての主な課題整理

- ・ 成果目標と事業内容の乖離
※個別事業の成果指標としては、目標設定が離れすぎている事業がある。
また、住民意識調査結果は、結果に至るまでに別の要因が大きく影響する
場合があるため、事業の指標としてはふさわしくないものもある。
⇒後期は、総合戦略KPIとの整合もあるため、目標の設定に注意が必要。
- ・ 事業によっては設備投資等に多大な経費が見込まれ、事業効果と財政状況との兼ね合いから担当が躊躇してしまうことがある。
⇒後期事業は、費用対効果、財政推計に基づき事業立案を行う。

2. 前期実行計画についての職員検証内容

(1) 担当部署ごとに前期事業評価及び課題整理

- ①平成26年11月～平成27年3月にかけてヒアリングを中心に実施

(2) 室長（現副課長）ワーキンググループによる検証

- ①第1回室長WG会議 平成26年8月11日（月）
- ②第2回室長WG会議 平成27年2月9日（月）
 - ・ 1班分科会 平成27年2月17日、3月3日
 - ・ 2班分科会 平成27年2月18日、20日、26日、3月6日
 - ・ 3班分科会 平成27年2月12日、3月5日
- ③第3回室長WG（リーダー）会議
平成27年3月13日（金）
- ④第4回室長WG会議 平成27年3月24日（火）

(3) 経営会議による審議

- ①平成27年4月13日会議において審議承認

3. 住民意識調査の結果

資料4のとおり

1. 前期実行計画事業一覧

	達成状況	27年度末成果目標	主な取り組み
1 上手に使おう集会所事業	100~76	18件のコミュニティハウス ⇒24件（地域敬老会等）	集会所や地区・自治会の情報提供 市民活動と集会所のマッチング支援を実施
2 防災コミュニティ促進事業	50~26	10か所の防災集会所 ⇒3か所（宮代台,東桑原,須賀島）	自主防災会同士や民間事業者と合同により、防災訓練を実施、防災拠点として、集会所を支援
3 介護予防・健康づくり活動支援事業	100~76	各小学校区で毎月1回以上実施 ⇒各小学校区10団体が毎月実施	介護・健康に関する意向確認や視察等、介護予防リーダー養成講座等を実施、みやしろキラキラ健康体操DVD作成
4 地域敬老会支援事業	100~76	区域ごとに開催4地区 ⇒町内60地区（約1,400名）	地域敬老会補助金制度により町内60地区で敬老会を開催、開催率は76%、参加者は1,400名
5 地域交流サロン支援事業	100~76	交流サロン小学校区で3か所 ⇒各小学校区ごとに実施中	サロンガイドブック作成により広報活動を支援、地域交流サロン支援事業補助金制度によりサロンを支援
6 市民、活動、地域資源の縁結び事業	25~0	年間50件の市民活動マッチング ⇒11件	市民活動サポートセンターをマッチングサービスの窓口として、相談や事業実施の支援を実施
7 子育てちょっと・ほっと・ひと息事業	25~0	カフェ利用者年間2,500人 ⇒市民団体未着手、協力店舗4件	市民活動団体の子育て事業として子育てサロンを開催 町内にて「子育て応援カフェ」の候補店舗 4店舗承諾
8 「市民大学みやしろ」設置事業	75~51	150人の受講生（年間） ⇒27末100人程度見込みあり	参加しやすい講座を実施、その後参加した市民自身が別講座を企画・運営する事を支援
9 市民による進修館の運営	25~0	意識調査進修館（50%→60%） ⇒51%、H27から指定管理	進修館に指定管理者制度を導入し、市民による進修館の運営を実現
10 市民の活動をつなぐインターネット放送局開局事業	100~76	4つのジャンルの番組開設 ⇒年間50本実施中	4ジャンルの番組で動画配信、特派員の確保、（仮称）「宮代インフォメーションチャンネル」を設置
11 便利バスが走る事業	100~76	年間利用者31,600人→50,000人 ⇒増加率83%、40,000人程度	ぐるる宮代とふれ愛センターを結び新規直線型ルート、90分から50分の運行時間短縮、便数も10本から16本に増
12 人権尊重平和事業	25~0	意識調査人権（25%→40%） ⇒事業は実施だが、23%	町の各種イベントにおいて啓発活動を実施 各種人権研修、男女共同参画セミナー及び情報誌の発行
13 グリーンツーリズム（町の顔）魅力UP事業	25~0	意識調査観光（27%→40%） ⇒25.1%	駅前広場に観光案内版設置、ホテルのタバ開催（新しい村ほっつけエリア）、中須用水沿いの桜並木にベンチを設置
14 宮代型観光推進事業	25~0	意識調査観光（27%→40%） ⇒25.1%	各種「婚かつ」イベントの開催、駅前空き店舗をチャレンジショップとして運営（H25）、まちバルの実施
15 市民運営型の観光協会設立事業	25~0	意識調査観光（27%→40%） ⇒25.1%	「市民ガイドクラブ」が市民団体として設立、「つながり&まちおこしイベント和e輪e」を実施
16 宮代町の魅力推進事業（里山体験事業）	100~76	里山体験年間500人 ⇒里山五楽体験約2,000人	五楽体験として自然観察会、森遊び、試食会等を実施 宮代桜応援団として、桜ウォークや施肥活動等を実施
17 みやしろ定住促進作戦	75~51	定住相談、ツアー年100件 ⇒H26が56件、H25が35件	定住促進HP「みやしろで暮らそう」を開設 定住相談、定住希望者ツアーの実施
18 宮代ファーマースタウン推進事業	50~26	認定市民農園を3か所 ⇒1か所	農まちフェスタ開催 認定市民農園を1箇所認定
19 道仏土地区画整理周辺整備事業	25~0	宅地100%調査（45%→60%） ⇒45.3%	組合事業支援による新住宅地整備が概ね完了、公園4箇所整備、上下水道の整備が概ね完了
20 東武動物公園駅西口周辺整備事業	25~0	意識調査市街地（45%→60%） ⇒45.3%	土地区画整理事業により、駅前広場（約3,500㎡）や都市計画道路中央通り線等が完成
21 東武動物公園東口周辺整備事業	25~0	意識調査市街地（45%→60%） ⇒45.3%	まち・道づくり協議会との協議により、まちづくりエリア（1.01ha）を設定
22 和戸駅・姫宮駅周辺整備事業	25~0	意識調査市街地（45%→60%） ⇒45.3%	和戸駅西側地区で整備検討エリア（11.6ha）を設定、土地利用等を検討、個別意向調査等により住民意識を把握
23 地産地消食堂開店支援事業	25~0	食堂2店舗開店 ⇒0店舗（チャレンジショップに留まる）	お弁当コンテストや開店に向けた料理サロンを開催 イベント等でチャレンジショップとして模擬店を出店
24 障がい者の雇用創出事業	100~76	A型事業所で20人雇用 ⇒2法人2事業所（あかり・MINT）	就労継続支援A型事業所開設の支援『MINT（定員10名）』『あかりワークス国納（定員10名）』
25 宮代町農業の6次化推進事業	75~51	民間加工施設2件、ブランド種1品 ⇒ブランド種1品（紫いも）	地域ブランドの種、紫いも活用のための商品作り 加工施設整備のための補助金制度創設
26 明日の農業担い手支援事業	75~51	15名の新規就農、5件の支援農家 ⇒10名見込み、11件農家	新規就農者の確保 実績 4名 地域支援農家の確保 実績 里親農家11名
27 宮代町農業生産基盤整備推進事業	25~0	集落営農モデル地区の選定1か所 ⇒生産者説明会の実施のみ	集落営農の説明会を実施、小規模農地基盤整備事業交付要綱を制定し、HPや農業委員会において周知
28 公共施設再編第1期計画	100~76	施設転用で7,000万円経費削減 ⇒ふれセン、いき活の転用、廃止	「進修館」「空原小学校」の長寿命化計画を策定 ふれ愛センターの閉館、いきが活動センターの機能転換

※ ○は継続、△は変更、×は廃止

今後の課題	後期継続	後期事業(予定)
地元区長の負担増大、自治会加入者の減少の現状、適切な支援	△	①地区連活用、地域コミュニティ形成手法・地域意見交換の場構築、②集会所がコミュニティ・防災拠点となるよう支援
自治会等の組織の実情をふまえた事業の推進(自主防は現在50)	○	①集会所整備補助金の継続、②集会所整備具体的提案
介護予防リーダーの確保、養成健康に対する意識の向上	○	①リーダー確保・養成、②地域活動周知、情報交換、③相談活動、④体操の普及、⑤効果必要性の確認、⑥支援方策見直し
事業の担い手確保 全自治体の80%以上開催を目指す	○	①80%以上開催(現76%)、②補助金交付、③開催支援相談実施、④補助金見直し検討
キーマンの発掘、事業継続性の検討	○	①地区・他市町実施事例紹介、②支援・相談の実施、③情報交換会の実施、④発表会の開催
年間50件は困難、見直し必要 (1週間に1事業は現実的でない)	△	①進修館での中間支援実施、新たな事業展開支援、②マッチングコーディネーター支援、ふるさと納税の活用
市民組織立ち上げの困難 子育て広場での子育てネット再構築	△	①子育て広場を中心としたボランティア、子育てサークル育成、子育て支援環境充実
町類似事業との統廃合、連携	△	①市民に企画運営を委ねた講座実施、②年間5本程度講座開催
市民による進修館の運営は27年度から実施。今後の運営が重要	×	「6市民縁結び」へ位置付け
特派員の高齢化、人材確保、地域との連携	○	①市民団体、自治会、学校等多様な主体と連携・協力した動画配信
地域活動を広げるバスでスタート 町内循環の請願可決で、要検討	×	※事業としては当初の目的に沿って、効果も出ている。 請願を考慮し、今後どう対応すべきか検討が必要。
課題が先行する時代背景、周知啓発の見直し、職員の意識改革	○	①人権教育研修会実施、②人権出前講座実施、③男女共同参画セミナー実施、④平和パネル展、啓発事業実施
取り組みがはじまったばかり 西口空き店舗対策、ハード整備の実施	○	①加藤園～東武公園線の整備、②定期市等送付と事業実施による家賃補助、空き店舗開店支援仕組みづくり
取り組みがはじまったばかり ヒト、モノ、カネの調達、仕組み	○	①市民主体活動持続のためのモデル事業構築
市民ガイドクラブ設立 自立するための支援	○	①市民運営型の観光協会設立支援
桜関連の見直し(組織作り困難) 屋敷林ウォークの見直し(個人所有)	△	①イルミネーション・イベント実施し、桜を内外にPR、②五楽体験事業等町魅力発信、③桜の適正管理
定住促進窓口の一本化、団地内空家対策、住宅供給数に依存	○	①転入希望ツアー実施、②定住促進HP魅力アップ、③役場推進体制構築、④自治会連携空き家情報、転入増
新しい村の基盤強化 市民農園に適切な場所の判断	○	①新しい村を中心に関係団体・市民連携し魅力アップ、②市民農園構想により推進
事業内容と目標との乖離 春日部久喜線の用地交渉、公園整備	○	①駅アクセス道路整備、②公園早期整備、③組合人的支援
事業内容と目標との乖離 中央通り線用地交渉	○	①中央通り線、②駅西口通り線整備
事業内容と目標との乖離 埼玉県、杉戸町との連携	○	①地域住民等合意形成、②県・杉戸・宮代連携による早期事業化
事業内容と目標との乖離 地権者の合意形成	○	①区画整理事業による住宅地形成、市街化編入、②東西自由通路整備
空き店舗対策や6次化との事業統合等を含めた調整	△	①他の6次化推進、空き店舗活用事業との調整
地域循環型産業の形成をどう進めていくか	△	①町内企業・事業所障がい者雇用、②町職員として公用促進、③業務開拓、④就労の場の確保
6次化を進めるための設備投資に必要な財源確保と投資効果のバランス	○	①これまでのアイデアの商品化、②加工実験センターの調整
支援農家の確保、若年層の新規就農者の確保、支援	○	①地域支援農家制度の構築、②共同荷捌き、共同利用農業機械保管施設の整備
事業実施にむけた地域との合意形成 規模に応じた財政負担	○	①基盤整備、実施希望地域への推進
インフラ、施設マネジメントの推進 借地の解消(特に西原自然の森)	○	①学校適正配置計画事業進行、②大規模公共施設の借地解消

2. 第4次宮代町総合計画個別方針一覧

※○は76%以上達成、△は50～75%、□は50%未満

構想1 人、活動、地域をつなげる		▼5年間の成果	
方針1 自治会内の自主活動が地域を強くし、町の活力を生む	「地区、自治会活動や市民活動に対する支援」満足度を50%にします。		
①上手に使う集会所事業 ○		37.5% ⇒ 38.0%	
②防災コミュニティ促進事業 □			
③介護予防・健康づくり活動支援事業 ○			
④地域敬老会支援事業 ○			
⑤地域交流サロン支援事業 ○			
方針2 小さな拠点（集会所）からの新たな展開	「集会所」利用率を40%にします。		
①上手に使う集会所事業 ○		未実施	
②防災コミュニティ促進事業 □			
③介護予防・健康づくり活動支援事業 ○			
④地域敬老会支援事業 ○			
⑤地域交流サロン支援事業 ○			
方針3 市民による市民活動支援	「市民活動スペース」利用率を20%にします。		
①市民、活動、地域資源の縁結び事業 □		未実施	
②子育てちょっと・ほっと・ひと息事業 □			
③市民大学みやしろ設置事業 △			
方針4 大きな拠点（進修館）からの新たな展開	「進修館」利用率を40%にします。		
①市民による進修館の運営 □		28.6% ⇒ 31.5%	
方針5 拠点どうしの連携による大きなコミュニティ	「町内循環バス」満足度を30%にします。		
①市民の活動をつなぐインターネット放送局開局事業 ○		21.6% ⇒ 19.9%	
②便利バスが走る事業 ○			
③人権尊重平和事業 □			
構想2 交流人口を増やす		▼5年間の成果	
方針1 歩いて楽しい地域づくり	「町の特性を活かした観光」満足度を40%にします。		
①グリーンツーリズムゾーン（町の顔）魅力UP 事業 □		27.1% ⇒ 25.1%	
方針2 農を楽しむグリーンツーリズム			
①グリーンツーリズムゾーン（町の顔）魅力UP 事業 □			
②宮代型観光推進事業 □			
方針3 宮代を知る、伝える	町外在住者を対象とする調査で「宮代町」知名度を90%にします。		調査中
①市民の活動をつなぐインターネット放送局開局事業 ○		27.1% ⇒ 25.1%	
②市民運営型の観光協会設立事業 □			
③宮代町の魅力推進事業（里山体験事業） ○			
方針4 市民による観光案内、宮代紹介	「町の特性を活かした観光」満足度を40%にします。		
①市民運営型の観光協会設立事業 □		27.1% ⇒ 25.1%	
構想3 定住人口を増やす		▼5年間の成果	
方針1 子育て世代増加策	「子育て支援」満足度を40%にします。		
①子育てちょっと・ほっと・ひと息事業 □		28.5% ⇒ 27.6%	
②みやしろ定住促進作戦 △			
方針2 認定市民農園の提供	「貸し農園、家庭菜園」利用率を40%にします。		
①宮代ファーマーズタウン推進事業 □		未実施	
方針3 空き部屋、空き家の多機能活用	「住宅地の整備」満足度を50%にします。		
①みやしろ定住促進作戦 △		43.0% ⇒ 44.7%	
方針4 空き家を活用した2 拠点居住から定住へ			
①みやしろ定住促進作戦 △			
方針5 流入人口の受け皿となる市街地整備	「市街地」満足度を60%にします。		
①道仏士地区画整理周辺整備事業 □			45.0% ⇒ 45.3%
②東武動物公園駅西口周辺整備事業 □			
③東武動物公園駅東口周辺整備事業 □			
④和戸駅・姫宮駅周辺整備事業 □			
構想4 産業を結び、活かし、広げる		▼5年間の成果	
方針1 地域循環型産業の形成	「商工業の振興（起業創業支援）」満足度を20%にします。		
①地産地消食堂開店支援事業 □		12.9% ⇒ 14.1%	
②障がい者の雇用創出事業 ○			
方針2 特産品開発とブランド化の推進	「農業の振興（担い手、地産地消）」満足度を30%にします。		
①宮代町農業の6次化推進事業 △		21.6% ⇒ 23.1%	
方針3 農業、農地の担い手支援			
①宮代ファーマーズタウン推進事業 □			
②明日の農業担い手支援事業 △			
③宮代町農業生産基盤整備推進事業 □			
方針4 趣味やアイデアの商品化と空き店舗活用	「商工業の振興（起業創業支援）」満足度を20%にします。		
①グリーンツーリズムゾーン（町の顔）魅力UP 事業 □		12.9% ⇒ 14.1%	
②宮代型観光推進事業 □			
③地産地消食堂開店支援事業 □			
構想5 公共施設の機能と役割の再編		▼5年間の成果	
方針1 施設を再編し、地域コミュニティの拠点づくりを	「自立した行財政運営に向けた改革」満足度を30%にします。		
①公共施設再編第1期計画 ○		21.2% ⇒ 17.6%	